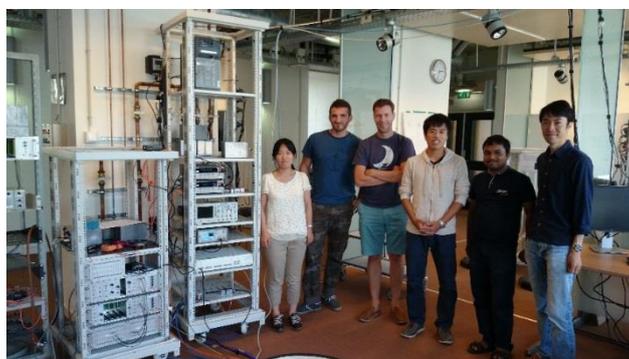


ヨーロッパ短期滞在を終えて
工学系研究科 物理工学専攻 D2 野入 亮人 (樽茶研)

2015/8/4~8/20 の約 2 週間、オランダの Delft 工科大学にある Quantum Transport group (QT) の L. M. K. Vandersypen 教授のグループ、及びデンマークのコペンハーゲン大学の Niels Bohr Institute にある Center for Quantum Devices (QDev) の C. M. Marcus 教授のグループの 2 箇所を短期訪問した。QT は総勢 50 人、QDev は 80 人程度が在籍する非常に大きなグループであり、両方とも世界最先端の研究業績を上げている。訪問中は、グループ内の見学や、個別のディスカッション、セミナー発表などを行った。セミナーでは、細かい実験内容についても議論ができ、非常に有意義であった。

加えて、スイスで開催された国際学会 Spintech viii にも参加しポスター発表を行った。Spintech viii は、スピンに関連する研究が全て含まれる比較的重要な国際会議である。学会では、最先端の研究内容を聴けると共に、私の発表に対しても様々な意見を頂くことができて、非常に有意義であった。

最後に、短期滞在を受け入れて下さった QT、QDev の皆様、今回の短期滞在中にあたって快く送り出してくださった樽茶先生並びにその他樽茶研の皆様にご心より感謝したい。また、このような貴重な経験の実現を支援して下さいました ALPS コースにご心よりお礼申し上げます。



QT におけるスピンキュービットグループのメンバーとの写真